

# 小緑小だより

第26号  
平成24年  
1月27日

小緑小学校  
校長室発行  
與儀茂

早寝  
すいみん  
朝ごはん



## 「あ〜つ〜 ま〜れ〜」 「あーいうーえ、オー！」 サッカー指導者のやさしい先生と運動を楽しんだ幼稚園

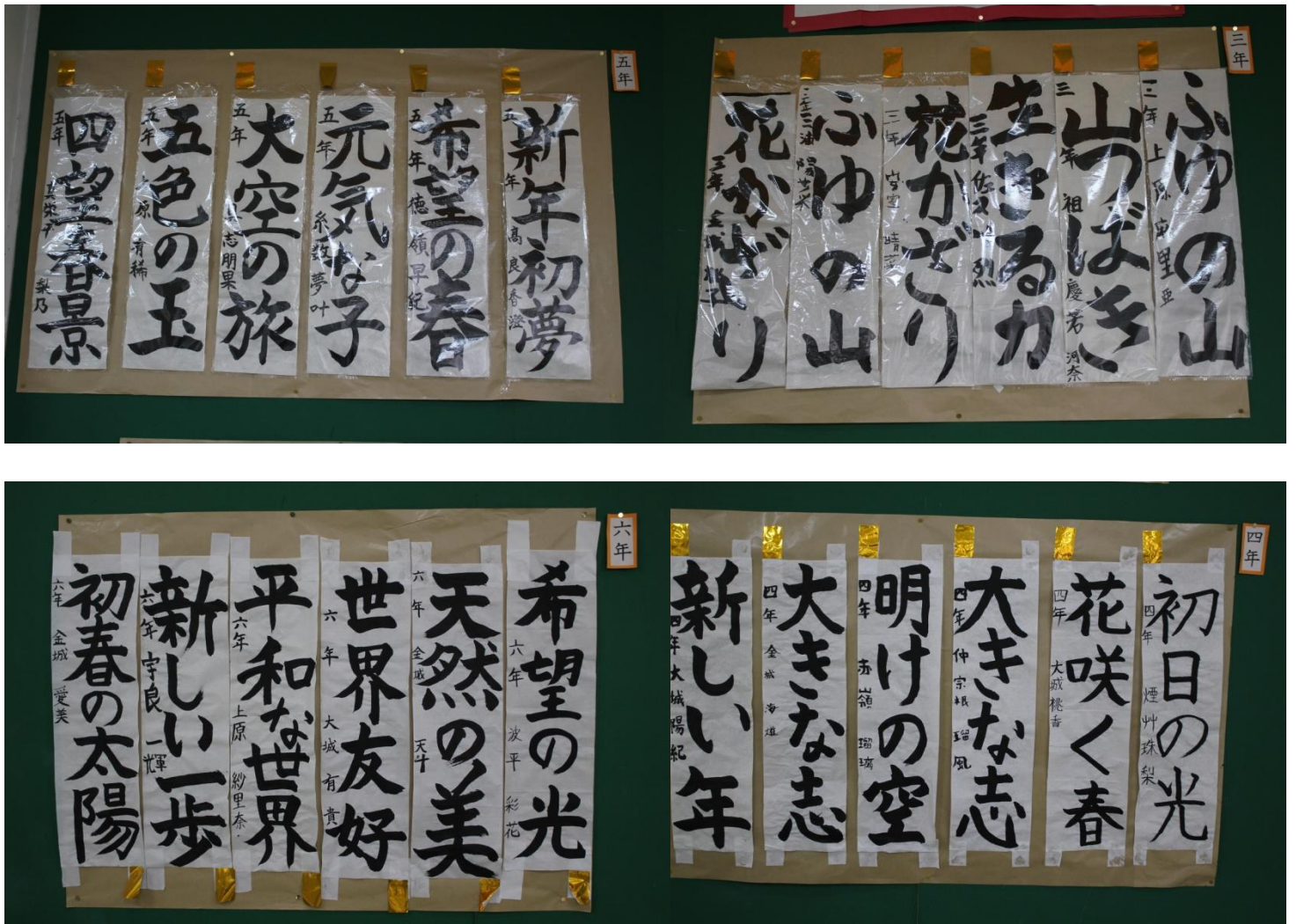
1月13日、幼稚園では市の専門家派遣によるサッカーを楽しんだ。ヴィクサーレ沖繩の青年指導者久場友弥先生の教え方は遊びのよう楽しくリズムカル。ボールとカラーコーンを置いた園庭は賑やかなサッカー場に変身。「あ〜つ〜ま〜れ〜」アニメ声優なみの聞きやすい声。友弥先生は伸び伸びした全身運動プログラムを楽しませ、園児の期待感を高める。一人でなくペア、そしてチームでやる運動。「相手チームに文句を言う応援はダメ！」「がんばる仲間を応援しよう」と友だちを思いやる心が育つ教えが嬉しい。運動に基本あり、チームワークにも基礎あり。

## 冬の朝も”森のくまさん”の読み聞かせに心は暖か ボランティアの皆様による継続実践に感謝



毎週火曜日の朝、読み聞かせに訪れる『森のくまさん』。1月24日の1〜3年生の教室では、子ども達が目を輝かせて聴き入っていた。1年1組では、『給食番長』を平良いづみさんが読み聴かせる。派手な表情の番長くん、大きな顔に元気がみなぎり給食を作るお話に、子ども達は食欲をそそられて、聴き入っていた。1年2組では、上原直さんが『寿限無』の長い名前を何度も読んで、笑う子ども達と心を通わした。絵を見る、文を聞く、面白い物語を追いながら、各々の想像をふくらます子ども達。

## 校内書き初め会で書かれた3～6年生による毛筆金賞作品



1月6日の校内書き初め会における3～6年生の毛筆金賞作品。伸び伸びした筆づかいに新春の希望、正月の新鮮な気分が表れている。児童玄関入って右側壁面に展示中。

1、2年生の硬筆金賞作品も展示してあります。鉛筆文字は小さくて写真では鮮明に写らないので明後日の1月29日（日）学芸会の際にお立ち寄りご覧ください。

☆全沖縄児童生徒書き初め展 金賞3年わか、はるかさん。5年ともか、かすみ、ゆめさん。

銀賞4年生1名、5年生3名、6年生2名。銅賞2年生1名、3年生14名、6年生2名。

**対話の窓** 阪神・淡路大震災から十七年目の一月十七日夜、NHKでは東日本大震災の津波で一人も犠牲者を出さなかった釜石小学校の子ども達の避難の様子が放送された。3・11の日は授業が早く終わっていたので、ほとんどが家にいた子ども達。自らの判断で避難したことが口々に語られた。まさに、伝承される『津波でんでんこ』の実行▼記録映像や再現の後、釜石市の学校の避難訓練指導者、片田敏孝群馬大学教授が解説した。「相手は自然。自然は人間の想定外。ハザードマップを信じるな。キミがそのときできる限りの行動をするのだ」と訴えてきた。お母さんを待たない、自分が逃げることでお母さんを逃がすことになる、と、『津波でんでんこ』は家族の信頼と絆が前提の教えだった▼園児たちのサッカー運動では、魅力的なゲームに熱中する主体的な遊びの中で、次々と名前を呼ばれて励まされ、「チームワークの心」を呼び覚まされた。専門家である指導者の温かい、熱い説諭が、園児一人一人の心に届く。何事も受け身でなく自ら学ぶ意欲があつて身につく。好むという感覚がその先を求め、そこにいる人やものに対峙して、自分と結びつけるのが学習のメカニズム▼片田教授は語った。「主体的な姿勢があつてはじめて知識が有効に活用される」。